

<p>公益財団法人 8020 推進財団</p> <p>令和4年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>	
1. 事業名:	・オーラルフレイル、介護予防等の普及啓発・調査研究事象
2. 申請者名:	公益社団法人東京都向島歯科医師会
3. 実施組織:	公益社団法人東京都向島歯科医師会 本会会員歯科医院 高齢者支援総合センター(墨田区内4施設)
4. 事業の概要:	<p>東京都向島歯科医師会の墨田区管轄地区内においてオーラルフレイル予防、摂食嚥下障害患者に対する地域包括ケアシステム構築を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区住民に対して、オーラルフレイルの概念と予防法に関する普及啓発活動 ・地域包括ケアシステム構築に関わる多職種者の参加型の勉強会を開催し相互理解を深める ・舌圧測定器を用いたオーラルフレイル、摂食嚥下障害の状態評価の基準を確認する ・調査研究として最大舌圧値とグルコセンサーを用いた咀嚼力の相関を調べる
5. 事業の内容:	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者支援総合センター（4施設）にて住民にオーラルフレイル概念、予防法について普及啓発のための講演会を行った 2. オーラルフレイル・摂食嚥下障害に対して関係者間の相互理解のため、担当地域の医療従事者（医師、歯科医師、薬剤師、言語聴覚士、理学療法士等）、介護施設勤務者、区役所職員、区議会議員が参加した講習会を開催した 3. 複数測定者によるグルコセンサーの測定方法の確認
6. 実施後の評価（今後の課題）:	<p>オーラルフレイル講演会は高齢者だけでなく、その家族、福祉施設勤務者、高齢者介護に係る職種者なども対象として広く普及啓発を行う必要性を感じた。また医療関係者を対象にした講習会においては、オーラルフレイル、口腔機能低下症、摂食嚥下障害の理解が職種によって異なるため、まずは用語統一が必要になる。その際に最大舌圧測定は簡便で客観性があるので、測定値を基準に話をすすめることで相互理解が深まることが確認できた。</p>